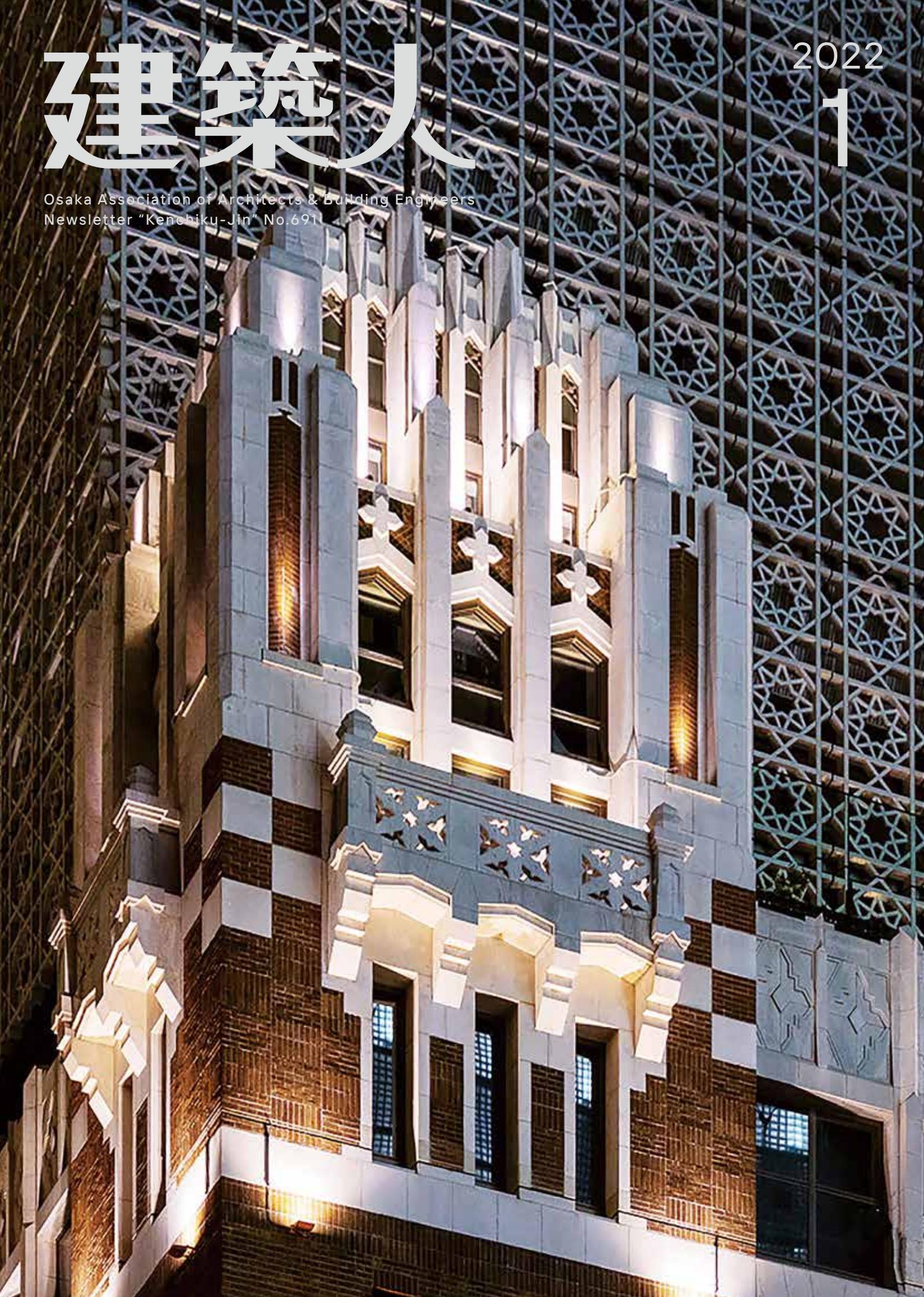


建築人

2022

1

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin" No.691





建築人

2022.01 No.691

Osaka Association of Architects & Building Engineers
Newsletter "Kenchiku-Jin"

2022年(令和4年)年頭所感

公益社団法人 大阪府建築士会
会長 岡本森廣



新年 明けましておめでとうございます。

一昨年から長期にわたる新型コロナウイルスは、健康被害はもとより経済活動の停滞や社会変化を起しましたが、デジタル化のツールは新たな日常をもたらし、本会でもWeb会議やセミナー、

クラウドファンディングの活用など、会員の皆様や社会へのサービス向上のために利便効率を高める電子化改革並びに組織改編を進めております。

しかしながら、コロナ禍による諸活動の中止や延期は財政に大きく影響し、感染防止対策を踏まえた活動の回復に努めるとともに、将来を見据えた本会の新ビジョンを掲げ、若い人材の登用や多様な職域の入会も促し、新しい建築士会の構築を目指します。

本年は本会創立70周年にあたり、定時総会を中心に多岐の記念事業を実行し、2025年の大阪・関西万国博覧会に絡めた建築士会全国大会「大阪大会」の準備も初動して、全国の建築士会の中でも大阪が特筆される活性化を図ってまいります。

建築士法に規定された本会の活動基幹は、建築士の知識の研鑽や技術の向上を図ることはもとより、43市町村長との面談による更なる行政との連携促進並びに多様な災害に応じた被災者支援や空家対策支援及び建築相談やヘリテージ活動、地域団体への助成などの社会貢献活動であり、公益社団法人の在り方を府民にアピールし、国際的視野も含めて建築士会の認知度を高め、会員増強に繋げてまいります。会員の皆様には、今後とも本会の公益目的事業の推進にご理解とご支援をお願い申し上げます。

動画はこちらから▶



大阪こちエエ

写真 田籠哲也 文 牧野隆義

今回は、世界に誇るランドマークタワーと言える「梅田スカイビル」を取り上げたい。この大阪市北区の新梅田シティ内にある超高層ビルは、地上40階・地下2階建てで、2棟の超高層ビルを頭頂部でつなげた連結超高層ビルとなっている。設計は、原広司+アトリエ・ファイ建築研究所と竹中工務店で担い、工事は竹中工務店、大林組、鹿島建設、青木建設による共同企業体でおこなわれた。構造は鉄骨造、一部鉄骨鉄筋コンクリート造で計画され、高さは173mにおよび、頂部の空中庭園部分は地上で組み立ててからリフトアップ工法により施工された。1993年に竣工した建物だが、28年の歳月を感じさせない佇まいにより、大阪を代表する建築と言える。

表紙の建築 「大丸心齋橋店本館」2019年

第13回 建築人賞 佳作

設計：日建設計・竹中工務店

施工：竹中工務店

撮影：戸田忠秀、大丸松坂屋百貨店*1、古川泰造*2

W.M.ヴォーリズ設計の旧本館の建替計画である。創建当初の姿を留める外壁の保存、内装部材の再利用による店舗空間の復原により、歴史的価値を継承しつつ、そこに新しい価値を付加することによって、新旧の価値が引き立てあう関係性を重視し、新本館を創造した。

2 大阪こちエエ

4 Gallery 建築作品紹介

「京都女子大学 E校舎」

設計：日建設計

施工：西松建設

「Canadian Academy」

設計：竹中工務店

施工：竹中工務店

「介護老人保健施設はくほう」

設計：森康郎建築設計事務所

施工：柄谷工務店

10 動静レポート

11 Topics

12 インフォメーション・事業案内

18 記憶の建築

「八重洲ダイビル」1967年

東京の街角を彩る流麗さを湛えて / 松隈 洋

建築人 No.691 2022年1月号

監修 公益社団法人大阪府建築士会 建築情報部門

編集 建築情報部門『建築人』編集部

部門長：飯田英二

委員長：荻窪伸彦(編集人代表)

編集人：梅田武宏 笠井志保 河合哲夫 茂籠一之

大松俊祐 橋本頼幸 牧野隆義 三谷勝章

武藤優哉 若江直生

事務局：山本茂樹 母倉政美

ロゴ・フォーマットデザイン 芝野健太

印刷 中和印刷紙器株式会社

令和4年1月1日発行

発行人：会長／岡本森廣

発行所：公益社団法人大阪府建築士会

〒540-0012 大阪市中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5F

tel. 06-6947-1961

Gallery





本計画はキャンパス整備計画の一環で校舎新築および中庭整備である。新校舎は講義室、カフェテリア、学生ラウンジ、教員研究室から構成される学生生活の中核となる施設で、キャンパスの中心に位置しており、キャンパスの北エリアと南エリアをつなぐ結末点としての役割も担う。高低差がある敷地特性を利用し、建物の雁行配置と様々なテーマのオープンスペースを重ねあわせ、敷地内側に開きながらも敷地外部の自然環境や景色を借景として取り入れ、奥を感じながら徐々にシーンが展開する空間と京都の四季折々の変化が感じられる施設づくりを行った。全施設を中庭に面して配置すること、内部空間と外部空間を一体的な活用を可能とすること、様々なレベルに多彩な場を設けることにより、学生が天候や日時、気分や用途によって使い分けができ、様々な活動や発想が生まれ、コミュニケーションが誘発されることを狙った。

所在地：京都府京都市
用途：学校
竣工：2021.03
構造規模：S造一部RC造
SRC造
地上2階
地下2階
敷地面積：13,414.46㎡
建築面積：1,377.55㎡
延床面積：5,374.40㎡
写真：東出清彦写真事務所
エスエス大阪



六甲アイランドにある築30年インターナショナルスクールの改修計画。既存2階半屋外アトリウムを屋内化し、新たなキャンパスの中心とするために、スギ集成材木格子からなるWood Awningを計画した。木パネル配置は、環境シミュレーションにより最適化を図り、木漏れ日の下にいるような、居心地の良い学習空間の創出を目指した。2階アトリウムには、カフェラウンジやステージ利用可能な円形のベンチ、3階にはオープンなライブラリースペースを計画し、学生、教職員、保護者、地域の人々が利用できる共創スペースとしている。新しい学習・生活・共創空間への再生が、世界に羽ばたく人材を創り出すことを期待する。
(地田 聡)

所在地：兵庫県神戸市
用途：学校
竣工：2021.09
構造規模：SRC造（一部S・RC）
地上4階
敷地面積：32,909.54㎡
建築面積：8,441.74㎡
延床面積：15,469.44㎡
写真：母倉知樹



本計画では、終の棲家ではなく、施設本来の目的である在宅復帰を促す建築を目指した。中庭を介した立体回遊動線に様々な溜り空間を点在させ、視線が交錯する開放的なプランは、リハビリや生活のアクティビティを入居者同士で意識させて励みを生む工夫である。また内外部を繋ぐ公共空間を設け、地域の多世代交流を誘発し、在宅への想いや意欲をさらに高めてもらうことも意図した。外観は、プライバシーと視界確保を両立させるガラス象嵌のバルコニー手摺と、ハイサッシ・給排気口・雨樋をインテグレートした小庇が交互に積層する構成とした。街並へのスケール感を調整すると共に、敷地周辺の遺構が伝える様々な時代の歴史イメージの重層性を表現している。

所在地：兵庫県尼崎市
用途：介護老人保健施設
竣工：2021.06
構造規模：RC造
地下1階
地上4階
敷地面積：2,122.29㎡
建築面積：1,271.35㎡
延床面積：4,243.42㎡
写真：古川泰造

2022年 「建築人」作品募集

Gallery 掲載要項

Galleryとは…

公益社団法人大阪府建築士会は、会誌『建築人』を会員サービスの一環として毎月発行しています。発行部数は約3,000部で会員のほか、官公庁、大学、図書館、出版社、報道機関等に頒布しています。この『建築人』では、毎号「Gallery」というコーナーを設けており、皆様の建築作品を掲載しております。皆様の作品を本誌へ掲載しませんか？

掲載費用

100,000円(1頁カラー)

*①：初回割引 80,000円

(設計者および施工者が過去10年間、Galleryに掲載されていない場合)

*②：若手初回割引 50,000円

(40歳以下で建築設計事務所を主宰されて

いる方で*①を満たす方)

掲載概要

建築主、設計者、施工者、
協力会社、所在地、用途、
竣工年、構造規模、敷地面積、
建築面積、延べ床面積

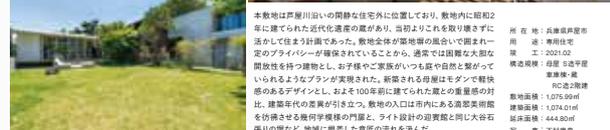
掲載記事内容

写真4点程度

説明文章：約300字程度

Gallery

山芦屋の家 設計：マニエラ建築設計事務所
施工：豊谷工務店



本敷地は山芦屋川沿いの閑静な住宅外に位置しており、敷地内に昭和2年に建てられた近代化遺産の蔵があり、当初よりこれを取り壊さずに活かして住まう計画であった。敷地全体が築地帯の面影で覆われ一定のプライバシーが確保されていることから、適度では自然な大規模な開放性を持つ建物とし、お子様やご家族がいつも庭や自然と繋がっていられるようなプランが実現された。新築される母屋はモダンで軽快感のあるデザインとし、およそ100年前に建てられた蔵との重量感の対比、建築年代の差異が引き立つ、敷地の入口に存存にある建築家像を彷彿させる幾何学模様様の門扉と、ライト設計の遊覧館と同じ大谷石張りの壁など、地域に根差した意匠の混れを添えた。

所在地：兵庫県芦屋市
用途：単独住宅
竣工：2021.02
構造規模：母屋 5.5坪
遊覧館 1.5坪
敷地面積：1,075.99㎡
建築面積：1,074.61㎡
延べ床面積：1,445.90㎡
写真：下村孝典

建築人 2021.07 7

掲載作品は、同時に『建築人賞』候補に！ 『建築人賞』とは

Gallery掲載作品は自動的に大阪府建築士会が毎年表彰している『建築人賞』の候補となります。(毎年1月号～12月号掲載作品)

『建築人賞』は、これまで13回を数える賞で、個人の審査委員長により選考します。

2022年は昨年に引き続き、建築ジャーナリストの磯 達雄さんをお願いしています。

賞には、「建築人賞」「建築人奨励賞」「建築人賞佳作」「建築人新人賞」があり、建築主、設計者、施工者に賞状が贈られます。さらに『建築人賞』の設計者の方には、記念品が授与されます。表彰は、5月(予定)に行われる建築士会の年次総会で表彰式を挙げており、受賞される建築主、設計者、施工者の方に参加していただいております。



審査委員長 磯 達雄

1963年 埼玉県生まれ
1988年 名古屋大学工学部建築学科卒業
日経BP社入社「日経アーキテクチュア」編集部勤務(～1999年)
2001年～ 桑沢デザイン研究所非常勤講師
2002年 フリックスタジオ共同主宰(～2020年)
2008年～ 武蔵野美術大学造形学部芸術文化学科非常勤講師
2020年～ Office Bunga共同主宰

会員
限定

建築士賠償責任 補償制度 (けんばい)

改正建築士法、2015年6月25日施行 「設計業務等に関する損害賠償保険の契約締結の 努力義務化(第24条の9)」

2014年度より、「法令基準未達補償」および「構造基準未達補償」の2つの補償を追加し、「滅失・破損」が発生しない場合でも一定の基準を満たさなかったために生じる損害賠償責任に対応できるように改定いたしました。

さらに、2016年度からは、耐震診断等の建物調査の遂行に起因して発生した対人・対物事故を補償する「建物調査遂行中の賠償責任補償」を、オプションとして追加しています。

設計・監理業務等に起因する 損害賠償責任	滅失・破損 あり	建築設備が著しく本来の機能を発揮できない場合の補償 (給排水衛生設備、電気設備、空調設備、住宅の遮音性能)	↑ 2013年度までの けんばい ↓	↑ 本年度の 標準セットプラン ↓
	滅失・破損 なし			
	法令基準未達補償 2014年改定 ※補償対象外とすることも可能です。			
構造基準未達補償 2014年改定				オプション
建物調査遂行中の賠償責任補償 2016年改定				オプション

●法令基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損が無い場合でも、「所定の建築基準関連法令における基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

●構造基準未達補償

建築物の外形的かつ物理的な滅失または破損が無い場合でも、「建築基準法第20条1、2、3号建築物」について、「建築基準法第20条に規定する構造基準」を満たさないことについての損害賠償責任を補償します。

●建物調査遂行中の賠償責任補償

耐震診断等の建物調査業務の遂行に起因して発生した対人・対物事故について、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害を補償します。
ただし、建物調査業務の結果により発生した事故は補償の対象外となります。

ご加入はWebで

公益社団法人日本建築士会連合会
のホームページ

刊行物案内と保険制度
>「保険制度」のご案内

2020年度
けんばい 新規加入の方

設計・監理業務等のリスクに備えた
建築士会会員のための補償制度

この案内は建築士賠償責任補償制度(けんばい)の概要についてご紹介したものです。保険の内容は建築士賠償責任補償制度のパンフレットをご覧ください。詳細は保険約款によりますがご不明の点がありましたら、下記までご連絡ください。なお、保険の内容につきましては、取扱保険代理店よりご案内させていただきます。

公益社団法人 日本建築士会連合会

〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館 5階
TEL:03-3456-3273 FAX:03-3456-2067
<http://www.kenchikushikai.or.jp/>

取扱代理店 株式会社 エイアイシー

〒102-0083 東京都千代田区麹町3-3-8 丸増麹町ビル 2階
TEL: 03-6272-6206 FAX: 03-6272-6209
引受保険会社: (幹事) 東京海上日動火災保険株式会社・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社・三井住友海上火災保険株式会社

動静レポート

本会は運営、研修、事業、建築表彰、建築情報、社会貢献の6つの部門により活動しています。

会長動静

- 11/26 岸和田市長面談
和泉市長面談
兵庫県建築士会長面談
- 11/27 近畿学生住宅大賞表彰式
- 11/29 全日本不動産協会大阪本部長面談
- 12/ 1 日本建築材料協会会長対談
京都府建築士会長面談
- 12/ 2 忠岡町長面談
泉南市長面談
- 12/ 3 香港政庁貿易発展局大阪所長面談
和歌山県建築士会長面談
- 12/ 7 大阪府収用委員会
- 12/ 8 熊取町長面談
奈良県建築士会長面談
- 12/10 田尻町長面談
運営部門会議
- 12/14 阪南市長面談
- 12/15 理事会・正副会長会議
- 12/21 大阪府収用委員会
- 12/22 泉佐野市長面談
- 12/23 岬町長面談



左より上田副会長、岡本会長、竹中勇人泉南市長、藤江理事



左より岡本会長、藤原敏司熊取町長、北條委員



左より山添専務理事、岡本会長、栗山美政田尻町長、田中副会長、藤江理事



左より藤江理事、田中副会長、水野謙二阪南市長、岡本会長



左より千代松大耕泉佐野市長、岡本会長、杉本委員



左より藤江理事、岡本会長、中口守可岬町副町長、田中副会長、佐々木信行岬町建築課長

会長による府内市町村長との面談



左より石上委員、山添専務理事、岡本会長、永野耕平岸和田市長、田中副会長、木村委員、堤勇二岸和田市副市長



左より北條委員、岡本会長、辻宏康和泉市長、田中副会長



左より木村委員、岡本会長、杉原健士忠岡町長、田中副会長

特準会員	27	0	0
賛助会員	138	0	0
計	2,628	4	2

(2) 会計報告

(円)	11月計	累計
収入	12,912,946	93,782,316
支出	13,787,123	85,269,540
差引	△ 874,177	8,512,776

上表の当期経常増減明細を承認しました。

(3) 分譲マンションに係るアドバイザーの派遣に関する協定書の一部変更

大阪市と本会の標記協定に、管理適正化支援アドバイザーの派遣業務を加える市の提案を受け、引き続き協力体制をとることで承認しました。

(4) 民間老朽住宅建替支援事業 建替アドバイザーに関する運営規程

大阪市と本会の標記事業に係る協定に基づき、本会が老朽住宅の建替を検討する建物所有者に適切な助言を行うための運営規程を承認しました。

(5) 建築士会 CPD 規則の改定

実績証明書の複数名用を設け、所属社員の証明を一括で行えるよう利用企業の便宜を図る改定を承認しました。

濱田徹副会長が令和3年秋の黄綬褒章を受章

本会副会長の濱田徹氏（studio GTH 主宰）が11月3日に建築設計監理業務に精励したとして黄綬褒章を受章されました。

令和3年建築士設計製図試験合格者の発表

12月2日に二級・木造合格者の発表、24日に一級合格者の発表がありました。

大阪と全国の結果です。 ()は全国

区分	受験者数	合格者数	合格率
一級	969 (10,499)	357 (3,765)	36.8 (35.9)
二級	892 (11,450)	431 (5,559)	48.32 (48.6)
木造	63 (356)	40 (241)	63.49 (67.7)

12月度 理事会報告

(1) 入退会の承認

(人)	11月	入会	退会等
正会員	2,425	4	2
準会員	38	0	0

宇宙建築～宇宙開発における建築の可能性～

日程：令和3年11月20日(土)

会場：大阪府建築健保会館

参加者：23名



静 茂夫(研修委員会 設計・設備・法令担当理事)

「宇宙建築」という言葉を聞いて、皆さん何を想像されますか。

宇宙に行く、ということがリアルに感じることができるようになった今、3名の講師を招き、宇宙建築の可能性を探る講習会になりました。

第一部では、各講師の宇宙建築について講義を頂きました。

「宇宙開発の動向と宇宙居住に向けた人工重力研究」では、人工重力の重要性とその実現手法、また軌道を利用した宇宙建築間の交通機関に至るまで、動画を交えて説明頂きました。普段の生活でももっと重力を感じることが、今後の宇宙開発を成功させる、という言葉がとても印象的でした。

「宇宙エレベーター建設構想」では、その仕組みとこれからの展望について説明頂きました。

赤道付近に「アースポート」を構え、高度

96,000kmのカウンターウエイトにより、まるで陸上競技のハンマー投げのように回り続け、静止軌道が生まれる仕組みをわかりやすい映像で説明頂きました。数年後に、本当に実現できるのではと感じました。

「宇宙開発における設計とそのスピノフ」では、火星プロジェクトコンペにおいて、火星居住に必要な紫外線対策とともに、人として生活するために重要な、自然光や植物による酸素生成など素敵な提案を説明して頂き、深い感銘を受けました。また「建築」「アート」「宇宙」と一体となって建築活動をされており、建築の奥行きを痛感させて頂きました。

第二部では、モデレーターにより、これからの宇宙開発における建築の可能性を探る議論が交わされました。それぞれ異なった分野での宇宙開発が、この会場で一つの未来を築いていく、という実感につながり、とても有意義な時間となりました。

今回の講習会では、大阪府建築士会初めての試みで、ニューヨークの講師と会場をWEBによりライブでつなげることができました。準備中にはトラブル続きでしたが、当日は順調に進めることができ、ほっとしています。今後のWEB講習会に新たな可能性を見いだせたのではないかと思います。

また会場には1名の小学生も参加頂きました。この講習会の影響で、近い将来、彼が宇宙で活躍しているかもしれません。



©NASA/Clouds AO

三栄建設鉄鋼事業本部新事務所 見学会

日程：令和3年11月26日(金)

会場：三栄建設鉄鋼事業本部

参加者：24名



田中秀人(研修委員会 構造・施工担当委員)

本建物は、鉄骨ファブリケーターである建築主が更なる会社の発展を実現するためにそこで働く従業員が自らの技術力に対する矜持・誇りを持てる働き場所をつくり出したという要望に対する取り組みでした。それに対する設計者の選択は、自然界に存在する立体ポロノイが持つジオメトリー(泡がある領域に充填されて拮抗した状態で発生するジオメトリー)が形作る関係性をそのままに鉄を使って徹底的に作るということでした。実現する過程では、コンピューショナルデザイン・BIM・デジファブを活用され、設計施工上の工夫が凝らされています。

今回の見学会では、設計担当者・構造設計担当者・施工担当者から設計・施工上の工夫について解説して頂き、三栄建設鉄鋼事業本部新事務所の基本計画段階から施工段階の

全貌をわかりやすく丁寧に紹介頂きました。最初に、株式会社竹中工務店の田中盛志設計主任から建築計画について、今回の案に至った背景、ポロノイ領域を活用した働く人の集い・繋がり・風通しの良い関係構築への試み、コンピューショナルデザインに対する具体的な取り組みなどを説明頂きました。次に、株式会社竹中工務店の大野正人構造設計課長より、構造計画について、立体ポロノイで魅せる鉄であらわす様々な構造技術(ポロノイフレーム・ポロノイ耐震壁・ポロノイ鋼鉄床・クロスハッチブレース・コンパクトパイルキャップ等)をディテール面まで説明頂きました。

さらに、株式会社竹中工務店の幸加木宏亮工事課長より、立体ポロノイを鉄でそのままにあらわす施工技術やBIMの取り組みにつ

いて、工程別に説明頂きました。続いて、竣工後の建物を見学させて頂きながら、講演で解説頂いた施策が具現化されている状況を確認しました。

設計・施工両面において、数多くの活発な質疑応答がありました。参加された皆様にはこれまで以上に非常に有意義な機会になったものと感じております。



Information

建築士会からのお知らせ

本会主催の講習会等では座席の離隔距離確保等の新型コロナ感染防止対策を行います。受講者におかれましてもマスク着用、手指のアルコール消毒等のご協力をお願いします。

感染状況によっては延期、中止となる場合がありますので、最新情報は本会HPでご確認ください。本会以外の事業は主催者にお問い合わせください。

既存建築物耐震診断等の評価・評定

本会では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」の改正に伴い、建築構造の学識者や実務者で構成する「建築物耐震評価委員会」を組織し、平成26年1月より建築物耐震評価業務を実施しております。

不特定多数が利用する施設や沿道建築物など、申込者が検討した建築物の耐震診断及び耐震補強計画について、専門的観点のもとに審査・審議を行い、妥当であると認める申込案件に対して評価書を交付します。

本年6月1日より、広域緊急交通路沿道ブロック塀等耐震化促進事業(補助金)における耐震評価機関となりました。

スピーディな審査を心掛けておりますのでどうぞご利用ください。

(業務内容)
耐震診断報告書の審査、評価
耐震補強計画書の審査、評価 等
(対象建築物)
公共・民間等の建築種別、用途、規模、構造種別は問いません。また、他府県の建築物も対象としております。
(会員特典)
申込者又は診断等実施者が本会会員の場合は、評価手数料の10%割引があります。

令和3年度建築士定期講習

3/24 CPD6単位
1/26、2/16、3/30 CPD各6単位

建築士法の規定により、建築士事務所に所属するすべての建築士は3年以内ごとに定期講習を受講しなければなりません。本年度は平成30年度に本講習を受講された方や、建築士試験に合格された方が対象となります。未受講者は懲戒処分の対象となりますので必ず年度内に受講してください。

▼対面講義
日程・会場・定員
3/24(木) 大阪国際会議場10階 200名
時間 9:15~17:00
受講料 12,980円(消費税含。事前振込)
申込方法
申込用紙を建築技術教育普及センターHPからダウンロードしてください。
(平成30年度受講者には、同センターから直接申込書を郵送しています。)
ご記入後、大阪府建築士会事務局へ持参

していただくか、簡易書留にて郵送してください。

受付場所(送付場所)
大阪府建築士会事務局
建築技術教育普及センターHPからWEB申込みも可能です。
<https://jaeickosyu.jp/jaeicteikikosyu/>
注) 定員に達し次第、受付を終了します。

▼「WEB動画配信」による講習会
各自都合のよい時間にWEB動画により受講いただき、修了考査のみ会場に来ていただく形式となります。
修了考査日程・会場・定員
1/26(水) 大阪府建築士会 1日3回各20名
2/16(水) 大阪府建築士事務所協会 1日3回各16名
3/30(水) 大阪府建築士会 1日3回各20名
受講料 12,980円(消費税含。事前振込)
申込方法
建築技術教育普及センターHPからWEB申込
<https://jaeickosyu.jp/jaeicteikikosyu/>
注) 定員に達し次第、受付を終了します。

既存住宅状況調査技術者講習

更新講習(DVD講習)2/15
新規講習・更新講習(オンライン講習)
CPD新規5単位・更新2単位

既存住宅状況調査は、登録機関の講習を修了した建築士だけに認められる業務です。ぜひ本講習で新たな業務の資格を取得してください。なお、2018年度に本講習を修了された方は本年度が有効期限となりますので、更新講習をご受講ください。オンライン講習も開催します。

▼更新講習(DVD講習)
日時 2/15(火) 13:30~16:50
会場 本会会議室
定員 各20名(定員に達し次第締切)
受講料 郵送申込17,600円
WEB申込17,000円

▼新規講習・更新講習(オンライン講習)
新規講習 2月前期:2/1(火)~2/15(火)
申込締切1/18(火)
定員 100名
更新講習 2月前期:2/1(火)~2/15(火)
申込締切1/18(火)
定員 200名
2月後期:2/16(水)~2/28(月)
申込締切2/2(水)
定員 200名

受講料 新規講習21,450円
更新講習17,000円
※受講に必要なパソコンの動作環境は、日本建築士会連合会ホームページにてご確認ください。

▼申込
日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。

令和3年度監理技術者講習

(監理技術者以外の方も受講可能)
1/27、2/18、3/9 CPD各6単位

本講習会は建設業法に基づく法定講習であり、建築に特化したテキストを使用し、経験豊富なベテラン技術者の講師による解説と映像で、実務に役立つ情報を提供いたします。なお、監理技術者以外の建築士や技術者の方も受講が可能です。日頃の工事監理業務に役立つので、ぜひご受講ください。
日程 1/27(木)、2/18(金)、3/9(水)
時間 8:55~17:00
会場 本会会議室
定員 各回20名(定員に達し次第締切)
受講料 WEB申込み9,500円
郵送申込み10,000円

申込 日本建築士会連合会ホームページよりお申込みください。
<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

大阪府知事指定講習

2021年度既存木造住宅の耐震診断・改修講習会《一般診断法》
2/17 CPD5単位

本講習会修了者は、大阪府及び府内市町村の木造住宅耐震診断等の補助を受けることができる技術者として名簿に掲載します。(本講習は、国土交通大臣登録講習ではありません。)

日時 2/17(木) 10:00~15:50
会場 大阪府建築健康会館6階ホール
最寄駅 大阪メトロ「谷町四丁目」下車
定員 40名(定員になり次第締切)
受講料 本会会員5,000円
会員外9,000円
テキスト代 7,300円(2012年改訂版木造住宅の耐震診断と補強方法)

※受講料及びテキスト代金は、事前にお振込願います。その際振込手数料もご負担願います。

クラウドファンディングを活用し、本会と地域住民がまちづくり活動を応援します

12/17~2/15

本会では、大阪府内で活動する建築士を含む団体の活動に対し、平成10年より地域貢献活動助成を行ってきました。本年度まで24年間にわたり合計31団体の活動に助成を実施し、大阪のまちづくり活動の活性化に貢献しています。

この度、地域のまちづくり活動を地域住民が応援するという理想の姿を目指し、クラウドファンディングによりその資金を集めることとしました。
助成に関する募集とその活動内容の審査は引き続き本会が行うこととし、本会と地域住民が協力し、大阪のまちづくり活動を応援していきます。
テーマ (仮) コロナ禍を乗り越え頑張る大

阪のまちづくりを応援したい
期間 12/17(金)~2/15(火)
目標金額 45万円
支援金額 500円、1,000円、3,000円、10,000円

プラットフォーム READY FOR (All in・寄付型)
リターン ご支援頂いた助成活動の年間活動内容を報告等。詳細はREADY FORのHPをご覧ください。

※ご支援頂くに際し、「READY FOR」への登録が必要です。



栗生明氏記念講演会(定時総会)動画配信

申込締切 1/15

本会の令和3年度定時総会の栗生明氏記念講演会の模様を、当日、ご欠席された会員の方にもご視聴いただけるよう、本会会員限定で希望者に動画URLを配信します。

「講演内容」
祈りの空間をテーマに、「祈りのための空間」および「祈りに関わる空間」さらには「祈りを誘発する空間」について、栗生氏が今までに計画あるいは設計してきた環境や建築を通じての講演。

「国立長崎原爆死没者追悼平和祈念館」「平等院宝物館・鳳翔館」「伊勢神宮式年遷宮記念・せんぐう館」「かなみ仏の里美術館」「奈良国立博物館・なら仏像館」「半蔵門ミュージアム」

視聴無料(本会会員限定)
申込締切日 1/15(土)
事前にテスト動画のURLをご送付します。
視聴期間 1/20(木)~1/31(月)

第65回大阪建築コンクール

1/17~31

本コンクールは、建築士と社会とのかかわりを通して建築作品を評価し、その優れた実績をたたえ、建築作品の設計者を表彰するものです。

募集対象
大阪府知事賞部門、渡辺節賞部門(完了検査済証発行日で応募者年齢が39歳以下)
両部門共建築物の用途・規模は問わない
審査員
委員長
長坂 大(京都工芸繊維大学教授)

委員
植野基一(大阪府住宅まちづくり部公共建築室室長)
荻原廣高(神戸芸術工科大学准教授)
中嶋節子(京都大学大学院教授、本会副会長)
満田衛資(京都工芸繊維大学教授)

応募期間 1/17(月)~1/31(月)
応募資格
大阪府知事賞部門:本会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者
渡辺節賞部門:本会正会員または大阪府在住もしくは在勤の者で完了検査済証

INFORMATIONの詳細は本会ホームページに掲載しています。本会の事業はホームページから申込できます。
【大阪府建築士会】大阪府中央区谷町3-1-17 高田屋大手前ビル5階 <http://www.aba-osakafu.or.jp/>
メール info@aba-osakafu.or.jp TEL.06-6947-1961 FAX.06-6943-7103

行日に39歳以下の者
応募料 本会正会員 1作品20,000円
本会正会員外 1作品40,000円
※詳細は本号同封の第65回大阪建築コンクール応募要項をご覧ください。

WEB講習会
「ラスモルタル壁の安心・安全を目標して」
1/20～30 CPD2単位(予定)

地震のたびに脱落など大きな被害が生じて、危険な壁と認識されがちなラスモルタル壁ですが、原因としては適切な設計や施工がなされていなかったことがあります。非構造壁等の耐震化や維持メンテナンスの観点からもラスモルタル壁の設計・施工監理が益々重要となっています。今回の講習会では鉄骨造や木造を対象としたメタルラスやラスシートの施工マニュアルと設計に関する留意点についてとりまとめた技術資料をもとに詳しく解説いたします。※6/23に開催した講習会を収録したものととなります。
日時 1/20(木)10:00～1/30(日)終日
会場 Microsoft TeamsによるWEB講習会
受講料 建築士会会員2,500円
後援団体会員3,500円
一般4,500円

BIM講習
すべてがわかる国交省最新動向と本格的実践活用事例
1/25 CPD3単位(予定)

現在、国交省を中心として建築BIM推進会議が行われ、BIMの更なる普及・活用に向けた動きが急ピッチで建築業界に起こっています。この状況の中でいかに状況をとらえ、乗り遅れずにBIMを推進していくために広く皆様にBIMの大きな流れを知っていただくべく、講習会を開催いたします。第1部では国交省のBIM推進の方針を、第2部ではBIM事例で特に実績を上げておられるゼネコンの最新取り組み状況をご説明いただきます。
日時 1/25(火) 14:00～17:00
会場 大阪建築健康会館 6階ホール
定員 70名(定員に達し次第締切)
受講料 建築士会会員3,500円
後援団体会員4,500円
一般5,500円

大阪地域貢献活動センター
2022年度助成対象活動募集

建築士と地域住民等が連携して進めるまちづくりなどの地域貢献活動に対して、本会が活動費の助成などを行います。
募集締切 1/31(月)
対象とする活動
原則として建築士と地域住民等で構成す

る団体が、地域住民等と連携して進める地域貢献活動で、営利を目的としない活動。
助成額 1件の助成額は30万円を限度

建築士の会南河内
建材屋さんの話/プレカット工場見学会
2/17 CPD3単位(予定)

大阪住之江区平林にある都市型プレカット工場、構造計算、構造図、プレカットの一貫製作プレテック(株)と村上木材(株)、無垢のテーブル加工展示場、(一社)大阪府木材連合会の建物見学会です。
日時 2/17(木) 13:00～ 受付
13:15～15:30 プレカット見学・説明
16:00～17:00 府木連建物見学
集合 村上木材(株)展示場南側駐車場
会場 プレテック(株)、村上木材(株)展示場 大阪木材会館((一社)大阪府木材連合会)
定員 30名(定員に達し次第締切)
参加費 会員500円 会員外1,000円
学生無料(学生証提示による)
申込期間 1/6(木)～2/10(木)

はじめよう、文化財の活用
2/19

毎回異なる国登録有形文化財を会場に、建物見学やワークショップ、周辺のまち歩きを行います。所有者から保存と活用の取組み事例や課題についてのお話を伺いながら、活用を通じて文化財を保存する力、いわゆる「文活BUN・KATSU」を学ぶ講座です。
2/19(第5回)
「水引で愉しむ雑の節句」
日本の伝統の和紙と水引で雛の節句きな粉包みを作ります。水引の「あわじ梅結び」と心を贈る折形の包みをご紹介します。日本古来の包み結ぶ文化を愉しんでみませんか。
日時 2/19(土) 13:30～16:30
会場 願得寺(国登録有形文化財) 門真市御堂町8-23
講師 淵本裕子(和のコトデザイン)
定員 24名
受講料 1,500円(定員に達し次第締切)
申込方法 必要事項(名前、住所、メールアドレス、携帯番号、同伴者の名前)を heritage@aba-osakafu.or.jpへメール又は06-6943-7103へFAX。後日、参加証のメール等予定。(集合場所など記載)
詳細は「大阪文化財ナビ」に掲載。

第2弾!“ささっと”描けるスケッチパース
2/21 CPD2単位(予定)

令和2・3年度建築士試験に合格された皆様に向けてのお祝い企画です! さらに…

「もう一度」という声にお応えした第2弾企画! お施主様との打ち合わせにおいて、“ささっと”と手際よくスケッチパースが描けたらいいな…と思われたことはないでしょうか? 今回は、彩色のコツを中心に学びます! もちろん、初めての方でも大丈夫!!
日時 2/21(月) 18:00～20:00
会場 大阪府建築士会東会議室
定員 先着順 限定25名
参加費 会員1,500円 会員外2,000円
令和2・3年合格者 会員1,000円 会員外1,500円
講師 藤山 文

その他のお知らせ

木造小屋組の耐風性能向上のための設計施工技術地域講習会
～近年の台風被害を踏まえた木造小屋組の耐風性能向上のための留意点と対策の解説～(大阪会場)
1/26

近年の台風被害を踏まえ、国土交通省国土技術政策総合研究所に設けられた小屋組検討WGにおいて、耐風性能向上のための接合部仕様の内容が取りまとめられたことから、その内容に準拠して、小屋組の設計施工上の留意点と対策をまとめた解説書を用いて、木造住宅の設計、施工に係る技術者を対象とする技術講習会を開催します。
日時 1/26(水) 13:00～16:40
会場 エル・おおさか南ホール 大阪府中央区北浜東3-14
講師 芳西直史 ((一社)JBN・全国工務店協会) 加藤宏幸 (全国建設労働組合総連合) 鈴木圭 ((公財)日本住宅・木材技術センター)
※上記の何れかの方が担当(順不同)
プログラム
●「木造軸組構法住宅の構造計画」
●「耐風性能向上のための留意点及び対策方法」
●「建築士事務所の保存図書の見直しの内容」
問合・申込 ((公財)日本住宅・木材技術センター Tel.03-5653-7663
申込専用アドレス <http://www.howtecs.shop-pro.jp/>

被災建築物の応急危険度判定(養成)講習会
2/15 CPD3単位

地震等により被災した建築物の余震等による倒壊、部材の落下等から生じる二次災害を防止するため、被災建築物の応急危険度判定を行う大阪府被災建築物応急危険度判定士を養成する講習会です。判定士の資格

をお持ちでない方はぜひ本講習会を修了され、判定士へのご登録をお願いいたします。
日程 2/15(火)
時間 受付12:30～ 講習13:15～17:00
会場 大阪府建築健康会館6階ホール
定員 40～80名(新型コロナウイルス感染防止対策のため調整します)
受講資格 大阪府内在住または在勤の一級建築士、二級建築士、木造建築士並びに建築基準適合判定資格者及び特定建築物調査員
※本講習会は応急危険度判定士に登録される方を対象としています。
受講料 無料
テキスト代 税込み1,600円(特別価格)
申込・問合 (一財)大阪建築防災センター企画耐震部
Tel.06-6942-0190

我が町「堺」再認識
堺歴史文化景観フォーラム
2/23(水・祝) CPD3単位(予定)

我が町「堺」には沢山の歴史文化資産があります。資産そのものとあわせてその景観は、地域の営みに関わる一人ひとりが長い歴史の中で培われ守り育まれてきたものです。その代表である世界文化遺産百舌鳥古墳群及び周辺地域と堺環濠都市地域は、古代から中世、近世、近代そして現代が重なり合う歴史文化景観として次世代に引き継ぐべきものです。そこで、世界文化遺産百舌鳥古墳群及び周辺地域と堺環濠都市地域について、大阪府立大学名誉教授増田昇氏、大阪市立大学名誉教授((公社)大阪府建築士会理事)藤田忍氏、大阪芸術大学教授間宮吉彦氏、堺ユネスコ協会会長川上浩氏、4名の専門家の知見から、市民の「まち」「空間」に対する意識の醸成と景観形成に向けた「取組の輪の拡大」と「景観の保全・整備の推進」を探ります。様々な参加団体の展示・紹介もあります。
日時 2/23(水・祝) 12:00～16:00
場所 フェニッチェ堺大スタジオ
定員 100名(申込先着順)
参加費 無料
申込・問合 堺ユネスコ協会事務局
Tel.072-299-2323
e-mail:b71002yn@iris.eonet.ne.jp

我が町「堺」再認識
堺歴史文化景観まち歩き
3/27 CPD3単位

世界文化遺産百舌鳥古墳群について専門家と歴史文化を学び、風景を発見し、景観写真を撮影する堺歴史文化景観まち歩きを行います。
日時 3/27(日) 13:00～16:00
集合 13:00 中百舌鳥駅西側駅前広場(時間厳守)
定員 30名(申込先着順)
参加費 500円(青少年は無料15名まで)
申込期間 1/4(火)～3/11(金)
申込・問合 堺ユネスコ協会事務局
Tel.072-299-2323

電子建築士会の実現！社会に尽くします。

宮崎 八郎

宮崎建築設計事務所
大阪市中央区西心斎橋1-1-11
(心斎橋西ビル8F)

柳川 陽文

株式会社 小河建築設計事務所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル6F)

岡本 森廣

株式会社 長田建築事務所
大阪市中央区谷町9-5-28

澤本 侃一郎

株式会社 K&S総合企画
大阪市西区京町堀2-2-1
(スマタビル10F)

上田 茂久

株式会社 上田茂久・建築設計工房
大阪市北区中津1-12-3

田中 義久

株式会社 田中都市建築事務所
(TANATOSHI DESIGN NET)
大阪市中央区本町橋5-14
OZビル本町橋902

謹賀新年 新たなステージを！

飯田 英二

株式会社 IMOデザイン
宝塚市武庫川町4-3-711

徳岡 浩二

株式会社 徳岡設計
TOKUOKA SEKKEI MYANMAR Co., LTD.(YANGON)
大阪市中央区本町橋5番14号
(オージービル本町橋3階)
大阪・東京・滋賀・九州

沼田 亘

株式会社 昭和設計
大阪市北区豊崎4-12-10

2025年 全国大会を成功させよう！

ひとにやさしく

あけましておめでとうございます

横田 友行

株式会社 能勢建築構造研究所
大阪市中央区瓦町3-3-7
(瓦町KTビル)

山城 健児

コーナン建設株式会社
大阪市北区大淀南1-9-10

人、社会、地球環境との共生

夢ある未来の創造

川田 啓一

株式会社 アール・アイ・エー
大阪市北区堂山町3-3
(日本生命梅田ビル)

金峰 鐘大

株式会社 I A O 竹田設計
大阪市西区西本町1-4-1

湯浅 武夫

株式会社 阿波設計事務所
大阪市浪速区元町2-2-12

西村 清是

株式会社 浦辺設計
大阪市中央区北浜2-1-26
(北浜松岡ビル4F)

渡邊 浩文

公益社団法人日本建築積算協会
関西支部 支部長

大松 敦

株式会社 日建設計
大阪市中央区高麗橋4-6-2

米井 寛

株式会社 東畑建築事務所
大阪市中央区高麗橋2-6-10

佐野 吉彦

株式会社 安井建築設計事務所
大阪市中央区島町2-4-7

100年をつくる会社

in 鹿島

常務執行役員
支店長 茅野 毅

関西支店：大阪市中央区城見2丁目2番22号 電話06(6946)3311
本社：東京都港区元赤坂1丁目3番1号 電話03(5544)1111

 **竹中工務店**

取締役社長 佐々木 正人

大阪本店 大阪市中央区本町4-1-13
TEL06(6252)1201
東京本店 東京都江東区新砂1-1-1
TEL03(6810)5000

 **大成建設**
TAISEI

For a Lively World

常務執行役員関西支店長 加賀田 健司

関西支店：大阪市中央区南船場1-14-10 電話06(6265)4504
本社：東京都新宿区西新宿1-25-1 電話03(3348)1111

低炭素化の防水仕様で環境へ貢献



■ピロウエルトE新熱工法 ■シグマートE

日新工業株式会社

大阪支店 支店長 武内 利治

大阪支店：〒550-0013 大阪府大阪市西区新町1-12-22
TEL 06-6533-3191(代表)
本社：〒120-0025 東京都足立区千住東2-23-4
TEL 03-3882-2424(代表)

キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

大建工業株式会社

大阪市北区中之島3-2-4
中之島フェスティバルタワー・ウエスト
06-6205-7214

デジタルデータを多様な形で表現し、
お客様の未来を支援・サポートします。

株式会社 ディーネット

代表取締役 井上 務

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-22-38 TEL.(06)6445-6888

荷物用エレベーターもクマリフト。



荷物用・人荷用エレベーター
小荷物専用昇降機(ダムウエーター)
メンテナンス・保守・リニューアル

総合エレベーターメーカー

クマリフト株式会社

本社：大阪市西区京町堀1-12-20
TEL：0120-07-0570
ホームページ：www.kumalift.co.jp



マンション・ビルの大規模修繕工事
高分子株式会社



www.kononsni.co.jp

代表取締役 山口 朗

〒599-8271 大阪府堺市中区深井北町3418-1 TEL：072-278-4157(代表)

一般社団法人

大阪空気調和衛生工業協会

会長 池田 隆之

〒541-0052 大阪市中央区安土町1-7-20 新トヤマビル3階
TEL 06(6271)0175 FAX 06(6271)0177

夢のレンガを積みあげよう



都築業株式会社

大阪市北区西天満2-8-1 大江ビル
☎(06)6367-0389 FAX(06)6367-5567
工房 三重県伊賀市西山 伊州窯 伊州観白樓
E-mail:info@miyakogyo.com
HP :http://www.miyakogyo.com

住まいに、人に、安心を。

住宅相談・住宅情報提供・各種研修事業
住宅展示場の企画・運営
住宅性能評価機関・住宅保険取扱機関



一般財団法人大阪住宅センター

理事長 横小路 敏弘

大阪市中央区南船場四丁目4番3号 心斎橋東急ビル4階
電話番号 06-6253-0071



UCHIYAMA

〈会社案内〉



明けましておめでとうございます。

株式会社 内山鑑定事務所

代表取締役社長
1級損害保険登録鑑定人

内山 真

✉ makoto_uchi-yama@uchi-yama.co.jp

〒107-0052
東京都港区赤坂2-2-17
ニッセイ溜池山王ビル2F
TEL:03-1234-5678 FAX:03-9876-5432

人と建物をつなぐリノベーションリーダー-KGS



近畿外壁仕上業協同組合

理事長 神農 竹夫

〒550-0011 大阪市西区阿波座1丁目7番12号
TEL(06)6533-0768 FAX(06)6533-0784
URL http://www.kinki-gaiheki.or.jp/



一般社団法人

大阪電業協会

会長 前田 幸一

〒530-0055
大阪市北区野崎町9番8号 永楽ニッセイビル
TEL (06) 6363-4077 FAX (06) 6363-4079
ホームページ <https://www.osdenkyo.or.jp/>

一般社団法人 日本建築材料協会

会長 松本 將

本部 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-4-23 撞木橋ビル4F
TEL 06-6443-0345 FAX 06-6443-0348
支部 関東・中部・中国・四国・九州
<http://www.kenzai.or.jp>

「サービス提供」から「価値共創」へ



一般財団法人

日本建築総合試験所

理事長 上谷 宏二

〒565-0873 吹田市藤白台 5-8-1
TEL 06-6872-0391 FAX 06-6872-0784
<https://www.gbrg.or.jp>

断熱・吸音・耐火材料

ロックウール工業会

理事長 武井 俊之

〒111-0052 東京都台東区柳橋2-21-13 東洋ビル4F
TEL (03) 5835-2569
FAX (03) 5835-2570
ホームページ: <http://www.rwa.gr.jp>

学校法人 福田学園

OCT 大阪工業技術専門学校
OHSU 大阪保健医療大学
OCR 大阪リハビリテーション専門学校

理事長 福田 益和

〒530-0043 大阪市北区天満1-9-27
TEL 06-6352-0093 FAX 06-6352-5995
URL <https://www.fukuda.ac.jp>



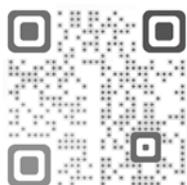
建築・インテリア・土木・造園
建設のすべては、修成で学ぶ

学校法人 修成学園

修成建設専門学校

理事長 山下 裕貴

〒555-0032 大阪市西淀川区大和田5丁目19番30号
TEL.06-6474-1644



詳しくはこちらの
QRコードから
スマホのカメラを
かざしてみてください

密をつくらないイベントに
スマホと連動した新しい商材
新たな集客に

QRコードから始まる
情報サイト制作サービス



中和印刷紙器株式会社

〒640-8225 和歌山市久保丁4丁目53番地
TEL. (073) 431-4411 FAX. (073) 431-8188

東京の街角を彩る流麗さを湛えて

八重洲ダイビル 一九六七年

文・写真 松隈洋 [京都工芸繊維大学教授]

いよいよこのビルも姿を消してしまいか。私事ながら、二〇二一年十二月初旬、そんな切羽詰った思いから最後の姿を一目見ておきたいと、コロナ感染が小休止する中、久方ぶりの上京の機会に立ち寄ったのが、村野藤吾が東京で戦後最初に手がけたオフィスビルで、一九六七年竣工の八重洲ダイビルである。その建設計画は、一九六三年の建築基準法改正によって三・一mの建物の絶対高さ制限が撤廃されて容積率制が導入される直前に急ぎ進められ

た。というのも、そこには、東京駅八重洲口から伸びる八重洲通りに面する好立地と地階が床面積にカウントされない旧法制の利点を最大限活かそうとする意図があったからだ。こうして、建物は街区の形そのままに建ち上がり、地下を五階の深さまで掘り下げることによって、容積率一三七〇%、すなわち、敷地面積の十三・七倍の広さの延床面積を確保することができたのである。

鉄骨鉄筋コンクリート造地上九階の外観は、カナダ産の黒御影石の細い柱とアルキャストの梁と方立による開口部、ブロンズペーンのペアガラスの組合せによって構成され、明るく軽快でありながら、重厚で落ち着いた風格にまとめられた。因みに、村野の建築の中では珍しくガラス面の多い建物になつてはいるが、それは街路側の正面が北に面しているからだと思われる。また、特徴的なのは、高く伸びる三組の塔屋が建物の立面に強いアクセントを与えていることだ。さらに、屋上には、木の実のなる樹木がふんだんに植えられ、野鳥が飛来する「屋上樹苑」が設けられた。それは、村野が、一九六三年に、大阪・堂島の新ダイビル北館で日本初の試みとして実現させた、四千本を超える樹木と千本の草本類が繁茂する約三千三百㎡の広さを持つ「屋上樹苑」を引き継いだものだった。そこには、このビルの竣工する一九六七年に大阪建物(株)社長・工藤友恵の記した次のような建築に対する考え方が反映されていた。

北側の外観全景



外観ファサードの詳細



「土地開発は人間の生活に、或いはその向上に、必要である。(中略) 現在の土木建築は多かれ少かれ自然の破壊を意味するものと一応は認めざるを得まい。自然保護の要請と矛盾衝突するものが土木建築の宿命と言う結論に一応はなりそうである。(中略) 自然を保護しつつ、生きとし生けるものの生活環境を維持しつつ、土地を開発し人間生活の為の土木建築を進めるのが、人間の叡智であり万物の霊長たる所以であると言わねばならぬ。(中略) 土地の所有権は社会機能だと言う考え方が我々を勇気づけてくれる。所有地を如何に利用するか、これに建設する建物

の種類も規模も用途も、これに迎えるべき利用者も、その運営も其他凡て社会機能を果たす責任を前提として決定しなくてはならない。それが如何に建物自体は立派に建築されようと例えば景観的に地域社会にマイナスとなるならば社会機能を果たしたと言えまいからである。(中略) 自然保護だけでなくその回復に聊かでも貢献し得る様な建築を、建設を、我等は心掛けなくてはならないと私は思う。」「わが建築観『建築と社会』一九六七年四月号)」

訪れると、テナントのごっそり抜けたビルには寂寥感が漂っていたが、跡地に建設される超高層ビルには、どんな社会機能が盛り込まれるのだろうか。村野は、八重洲ダイビル建設中の一九六五年に口述筆記を元にまとめられた「わたくしの建築観」(『建築年鑑』美術出版社一九六五年)と題する文章の中で、高層建築について次のような自説を記していた。

「私は高い建物もどうかと思うのです。低いと平面的に広がる。そのほうがよいと思う。建物を高くするということは、私のいう地相を過度にすること、土地に限度をこえた負担をかけた、その結果地相を破壊する。たとえば建物を高くして空地をよけいにとり、それが駐車場に利用されたからといって、われわれの生活にどれだけプラスするか。私からいわせれば、そういう社会は決して良くならぬ。そうでないほうが好きだということになるわけです。」

こう述べたとおり、村野は、生涯超高層ビルを手がけることはなかった。没後の一九九一年に発行される『村野藤吾著作集』への収録に当たり、追記された註にも、「高層建築は高度消費につながり、種々には危険性ははらむ。また高層建築は、都市問題の解決の唯一の方法ではない」と書き加えている。また、先の文章には、次のような建築観が記されていた。

「たとえば民家の良さにしても、(中略) 建築家のような特別な人間がとくにデザイン的な工夫を加えたものかどうか、といえば、どうもそうではない。素人でも百姓でも皆が寄ってきて、何百年もかかってだんだん積み重ねていって、はじめてあのような良さが出てきたのではないか、あれが建築というものではないかと思うのです。(中略) そうしたわれわれの生活にとつて一番必要なものをアレンジすることだけが、建築家の任務ではないか。(中略) そうすると、やはり本当の建築とはだれにでもその良さがわかって楽しめるもの。(中略) 結局私がハシバシに気をつけるかどうかというのは、人間にたいする感じをよくするという意味で、われわれが気持ちよく生きていくことに尽きるわけですから。」

村野は、何よりも、「だれにでもその良さがわかって楽しめるもの」を求めていたのだ。八重洲ダイビルには、そんな村野の思いが注がれた流麗な意匠をハシバシに確認することができると思う。歴史の皮肉なのか、生誕一三〇年という節目の年に、東京で加速する巨大再開発の流れに巻き込まれ、その二度と創ることのできない彩りは、このまま東京の街角から跡形もなく失われてしまうのか。残念に思えてならない。



淡路瓦イズム

『黒燻瓦 (KUROIBUSHI)』

栄和瓦産業株式会社

<https://www.eiwakawara.com/>

取材：河合哲夫／建築情報部門委員

400年の歴史を持つ淡路瓦は「淡路瓦イズム」を通じ、これからの時代に社会から必要とされる瓦づくりに挑戦を続けています。今年も淡路瓦イズムを実践している会社を紹介いたします。

日本の瓦の歴史は、今からおよそ1400年前に中国から仏教とともに伝えられたことから始まると言われていました。淡路では、ほぼそれと同じ時代に既に瓦の生産が行われていたことを示す瓦窯跡が発見されています。

淡路は、なめ土と言われる肌理の細かい土で焼かれ、美しい銀色に仕上げられたいぶし瓦の産出量が日本一です。このいぶし瓦の美しい仕上がりは、瓦製造の最終工程で、無酸素状態の窯にブタンガスを封入することによって、炭化水素が熱によって分解され、炭素だけが瓦の表面に規則正しく配列される「還元反応」を起こし、表面に炭素の被膜が形成されることによって得られます。

このいぶしの技術は、その瓦の永い歴史の中ではまだ新しく、約400年と言われていています。いぶし瓦の銀色の皮膜は、光の乱反射を起こし、鈍い光沢を持つ瓦の美しい質感を生み出します。しかし、その美しい質感は、古建築や古い町並みの中では、均質で美しすぎるために不釣り合いな景観を生み出してしまふことがあります。

そこで、栄和瓦産業株式会社が、真新しいのに、まるで悠久の時間を経たかのように深い黒さを持つ質感の「黒燻瓦」を開発されま

した。

淡路瓦は、他の産地と比べると低い温度の約1000℃で焼き締められますが、この『黒燻』は、1080度まで焼き進めて生産されます。その後900度まで温度を下げたところで『燻化』。炭素膜を作り、さらに600度まで下がったところで酸素を入れて再び焼くという「二度焼き」の技術を開発することで生み出されました。高温で焼かれることにより、金属で激しく引っ掻いてもほとんど傷が付かないほどの高い硬度が得られます。また、吸水率も低いため、寒冷地の凍害や海岸地域での塩害にも高い性能を発揮するため、国内外の北部地域や沿岸地域にも市場が大幅に拡大しました。

また、そうした優れた性能に加え、年月を経て褪せることがない深みのある黒さが生む素材感は、古建築や伝統的景観地域だけでなく、モダンな現代デザインの空間にもフィットします。そこに着目して、「黒燻」の技術を活かした景観材料「黒燻レンガ」も開発されました。

厚みのある「黒燻レンガ」は、高級車やフォーマルウェア、高級革製品における「黒」がそうであるような、知的な気品の漂う緊張感を醸しています。多様なサイズのアアイテムがあり、体験したことのない空間のイメージを喚起させてくれそうです。同社は、オリジナル形状による少量生産等への対応力も持たれているとのことですので、ぜひ一度相談してみてください。

■淡路瓦のお問い合わせ先

淡路瓦工業組合

兵庫県南あわじ市湊134

Tel.0799-38-0570 Fax.0799-37-2030

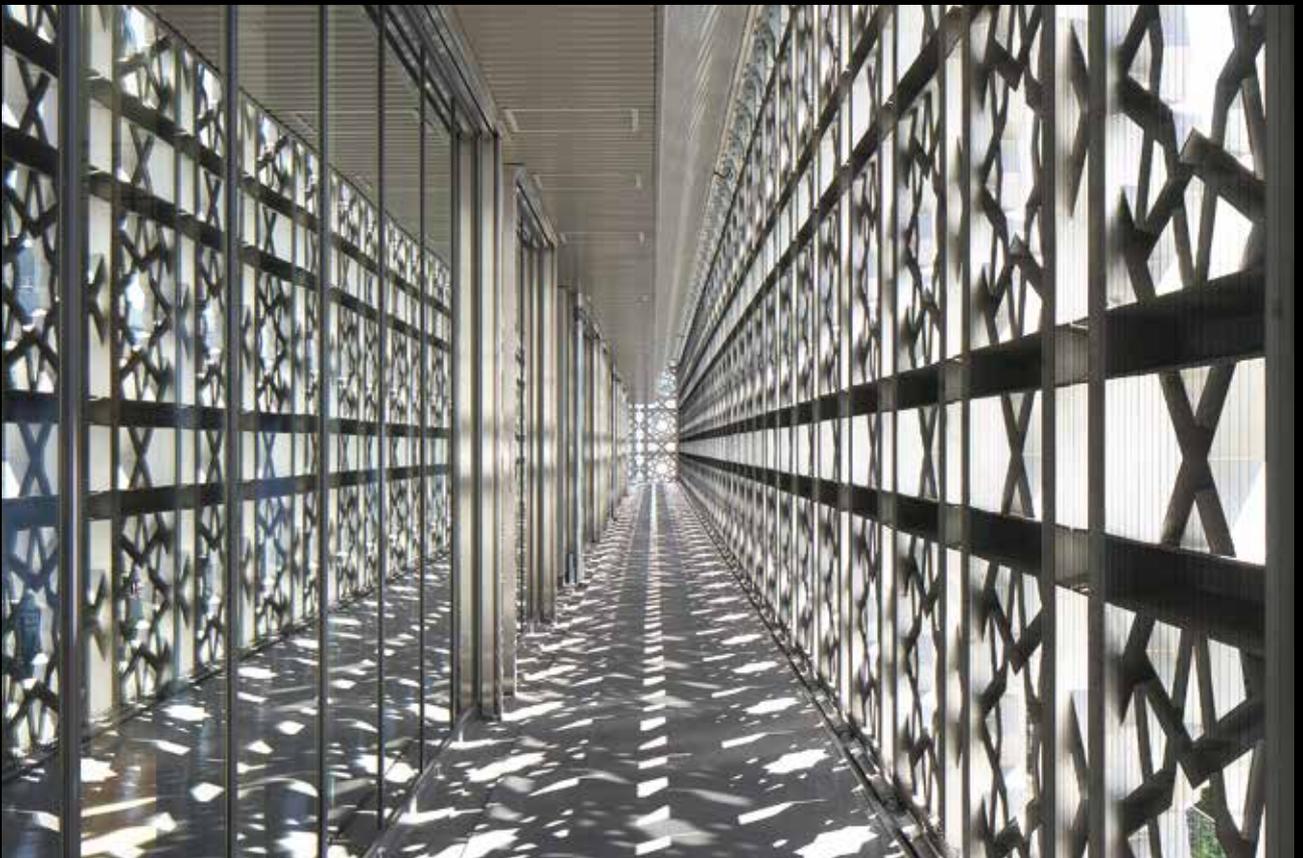
info@a-kawara.jp

<http://www.a-kawara.jp/>





旧本館保存品の再利用や、戦時供出で失われたシャンデリアの復原により、華やかな“ハレの場”を継承 *1



旧本館の幾何学模様をモチーフとした外装スクリーンと内側の避難通路 *2